

## 第1回福井県嶺北地域公共交通活性化協議会

日 時：令和6年5月23日（木）14：00～15：45

場 所：福井県庁6階大会議室

### 1 開会

### 2 あいさつ

福井県 姫川新幹線・交通まちづくり局長

### 3 議事

#### (1) 規約の一部改正について（バス専門部会の追加）

- ・事務局より資料1説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

<質疑応答>

福井運輸支局

- ・方向性について異存なし。この協議会とバス専門部会でメンバーが少し異なるので、バス専門部会にも有識者である川本先生や三寺先生のご知見も早期の段階で取り入れて進めてほしい。

川本会長

- ・法定協議会の委員として、バス専門部会にも情報共有など図りながら積極的に関わってきたい。

#### (2) 令和5年度事業報告および決算報告について

- ・事務局より資料2説明
- ・監事より会計報告
- ・異議なし、原案のとおり承認

#### (3) 令和6年度事業計画案および予算案について

- ・事務局より資料3説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

(4) 計画の一部改定について（運行事業者の変更）

- ・事務局より資料4説明
- ・異議なし、原案のとおり承認

4 報告

(5) 計画の各事業の進捗状況について

(6) 計画の目標値の達成状況について

- ・事務局より資料5および資料6説明

<意見交換>

西日本旅客鉄道株式会社

- ・3月16日に北陸新幹線が開業し、多くのご利用をいただいている。引き続き新幹線の利用促進に努めるとともに、二次交通と連携した利便性向上に努めていきたい。
- ・JR越美北線については、計画に記載の事業を着実に進めていきたい。

株式会社ハピラインふくい

- ・弊社は3月16日より鉄道事業者として運行を開始した。運行開始からの約2カ月間をみると、想定以上の利用をいただいております。定期についてはこれまでと同水準で推移しているが、定期外の利用が大きく伸びている。新幹線開業を機にオープンした県内施設も多く、県外からの訪問客や非日常型の利用が増えているので、これらを今後も伸ばしていきたい。
- ・安全安定運行に加え、利用しやすいダイヤ設定などにより地域の足として利用しやすい交通手段とするとともに、市町や観光部局と連携して駅が目的地となるようなイベント等を行い、駅周辺の賑わいづくりにも貢献していきたい。

えちぜん鉄道株式会社

- ・新幹線開業効果により令和5年度の利用者は前年よりは伸びているが、コロナ前には戻っていない状況。特に3月後半は利用が大きく伸びており、4月は約5%の伸びである。もう少し伸びてもいいと感じているが、全体的には好調と言える。この結果に満足せず、観光客を中心に利用者増の取組みを順次進めていきたい。
- ・資料5について、交通系ICカードの導入は福井鉄道様と一緒に今年度のなるべく早い時期に実施する予定。イニシャルコストについては十分ご支援をいただいているが、ランニ

ングコストについても相当かかることが見込まれるので、こちらについても行政支援をお願いしたい。

- ・今年2月のバスへの交通系ICカード導入時には半額キャンペーンなどを実施していたので、鉄道への導入時にも同じようなキャンペーンができると良い。坂井市では免許返納者へのICOCAの配布を行っている。鉄道とバスでICOCAが使えるようになるこのタイミングで他の市町でも同じような取組みにより住民への普及が進むと事業者としてもありがたい。
- ・駅のバリアフリー化について令和6年度から県の補助制度を創設いただいたので追加で記載いただければと思う。特急の駅を中心に進めていきたい。
- ・今年の7月からいりゅうのフルラッピング列車を運行予定。あわせてイベントも開催しお客さんに楽しんでもらいたい。
- ・乗務員によるとインバウンドの乗客が戻ってきているようなので、飲食店が分かるマップやパンフレットの英語版がないようであれば作成すると良いと思う。
- ・敦賀駅については乗換駅になっておりまちなかに降りてこないという話も聞く。構内では数分の乗換えだから急いでというアナウンスだけではなく、敦賀を周遊してみようといったアナウンスがあっても良い。

#### 京福バス株式会社

- ・運転士不足が深刻化しており、路線の効率化をせざるを得ない状況となり申し訳ない。
- ・採用活動とともに自社の高速バス、整備工場、グループ工場からも運転士を集めての生活バス路線の確保に努めてきた。また、新幹線開業にあたっての二次交通の整備や利便性向上にも努めてきた。
- ・それでもやはり高齢の運転士が多く想定を超える退職者が出ており、採用活動も一朝一夕では成果がでないため、急で申し訳ないが福井市地域で減便をさせていただいた。これからも採用等の状況によっては路線の見直しが必要となることをご理解いただきたい。
- ・新幹線開業後の状況について、4月は昨年と比べて収入が3割程度増加している。特に観光路線が伸びているが、福井駅前の商業施設が開業してまちの中心部に向かう目的ができたことが大きい。まちなかの賑わいが続けば公共交通にも良い影響が続くと思う。
- ・交通系ICカードの導入を機に回数券をなくし、その分の割引率を運賃の方に転嫁させていただいたのも収益増に寄与していると思われる。
- ・交通系ICカードの導入には利用者の大きな減少もなく移行することができた。利用者がストレスなく乗り降りできる交通系ICカードを是非多くの方に普及してもらいたい。

## 一般社団法人福井県タクシー協会

- ・タクシーも新幹線開業に向け、配車アプリ導入、キャッシュレス対応、駅前カメラなどの様々な取組みを行ってきた。開業直後は想定ほどの利用者の増加はなかったが、これからインバウンドなどで増加が見込まれるので、継続して取組みを進めていきたい。
- ・運転手不足がタクシーでも課題となっている。この解決策の一つとして一般ドライバーによる日本版ライドシェアを福井県内でも実証していく予定なので、またご協力をいただければと思う。

## 福井市

- ・新幹線開業にあわせて、ふくいMaaSアプリを拡充させていただき、新たな電子企画切符のリリースなどを行った。今後は嶺北地域の皆様と一緒に取り組んでいきたい。
- ・福井市内の路線バスも減便になるということで、運転手不足の解消に向けて消防士の定年後のキャリアとしてバス運転手を紹介できないか検討している。市としてもこのようなところで協力していきたい。
- ・6月補正でハピラインの新駅や都市計画道路の検討についても実施する予定なので、こちらも引き続き取り組んでいきたい。
- ・開業後の課題として駅前の駐車場の混雑を指摘されているため、駐車場問題の調査も行い共有させていただければと思う。

## 大野市

- ・まずは職員自身が越美北線や京福バスを利用するよう心掛けています。
- ・イベント等による利用促進として、花桃の臨時列車運行などイベントにあわせて土日祝に越美北線の臨時列車を走らせてもらっている。また、新緑祭りに越美北線でお越しいただくとお買い物券を進呈するなどの利用促進も行っている。
- ・日常利用の促進については、越美北線の定期購入補助や勝山高校に通学する方への京福バス勝山大野線の定期購入補助を行っている。また、越美北線の定期を持っている方には京福バス大野線を割引し400円で利用できるようにしている。
- ・タクシーについては、夜の時間帯はタクシーが運行していないので、夜の時間帯で実証を予定している日本版ライドシェアの動きを注視していきたい。
- ・運転免許を持っていない高齢者へのタクシーの利用料金を助成についても内容を手厚くして継続して実施している。
- ・また、LPガススタンドの廃止に伴い、タクシー車両の入れ替え支援を行っている。

## 勝山市

- ・ニーズに合わせた効率的な運行として、令和5年1月からコミュニティバスを段階的にフルデマンド化している。
- ・勝山市の中学校の統合に伴いスクールバスの運行を検討しており、運転士不足も踏まえてより良い運行方法を考えているところ。
- ・LPガススタンドの廃止に伴い、勝山市でもタクシー車両の入れ替え支援を行っているので資料にも追記してほしい。
- ・ゴールデンウィークやお盆は自家用車で恐竜博物館にお越しになる方が多く渋滞するので、その緩和のためにパークアンドライドの取組みを行っている。恐竜列車を走らせていただいているえちぜん鉄道など公共交通を使って自家用車以外の方法でお越しいただけると良い。

## 鯖江市

- ・令和4年度に策定した地域公共交通計画に基づき公共交通ネットワークの構築を進めている。
- ・令和5年度はつつじバスを中心としたSNSによる情報発信を実施した。イベント情報とからめてハピラインや福井鉄道の利用促進もPRしている。
- ・また、休日利用の促進として、神明駅で11月にイベント開催し多くの方にお越しいただいた。開業日には鯖江駅前でもハピラインを知ってもらうためのイベントを開催した。
- ・今後もハピラインや福井鉄道と協力して利用促進を図っていきたい。

## あわら市

- ・開業して翌週以降の駅周辺は落ち着いて見えたが、ゴールデンウィーク以降も芦原温泉には多くの宿泊客が訪れているようである。
- ・二次交通については、特に19時以降の駅からの交通手段が課題と感じていた。このため、タクシー事業者と協力して金曜から日曜まで夜の23時まで、芦原温泉駅とあわら湯のまち駅に待機させる事業に取り組んでいる。その結果、4月だけで313回、約60万円の売上げがあり効果があったと感じている。

## 越前市

- ・令和6年度に策定予定の地域公共交通計画の中で市民バス、路線バス、二次交通の在り方を議論していきたい。

- ・新幹線開業にあたっては新幹線駅周辺の駐車場の混雑が課題となった。開業直後でイベントが多く開催されたことと併設する道の駅にも多くの方がお越しになったこともあり、実際に公共交通を利用する方と一時的に来訪される方の住み分けができていなかったと考えられる。ゴールデンウィーク前に混雑状況が分かるライブカメラを設置し、駐車場の住み分けを実施したことで、高速バスや電車に乗り遅れがない体制を整えられた。
- ・令和5年度から令和6年度にかけてハピラインの新駅「しきぶ駅」の整備を進めている。
- ・タクシーのドライバー募集説明会を開催し、9名の参加者から1名採用につながった。今後も定期的を開催していきたい。

#### 坂井市

- ・コミュニティバスからイータクで市内の通院や買い物をカバーしている。昨年の4月は1日約50件の利用だったのが、今年の4月は1日約100件の利用と倍増しており、増車も検討している。
- ・ハピラインについては春江駅と丸岡駅がある。春江駅では地元の方を含めたワーキングを進めており、今年度も基本計画の策定をする予定。
- ・えちぜん鉄道については、毎年親子の運転教室を企画している。今年は三国湊駅前に市場が整備されているので、そこと連携したイベントを企画したい。
- ・免許返納者に対しては5000円チャージしたICOCAを配布している。県警のご協力のもと免許センターで受け付けをして発送できる体制を整えているので、今年度も引き続きご協力をお願いしたい。

#### 永平寺町

- ・資料記載のとおり。

#### 池田町

- ・町内の移動手段についてはコミュニティバスの運行と介護タクシー3社の運行がある。介護タクシー利用者の方には乗車料金を1/2補助している。
- ・町外への移動手段については、地元の方が運転するマイバスを運行している。町外の学校に行く方は9割の定期補助を行っている。
- ・交通を福祉、教育、経済と連携した施策として推進し、不安や不便のない町となるよう利便性向上に努めていきたい。

## 南越前町

- ・令和5年6月からデマンドのらくらくおでかけバスを運行しており、一昨年のコミュニティバスと比べて1割ほど利用者が増加している。町内に200箇所の停留所をつくっており車両4台で運行しているが、このまま利用者が増えれば増車も必要かと考えている。
- ・二次交通については、この4月から丹南地域定額タクシーを開始した。
- ・今週末には今庄そばまつりがあり、ハピラインさんに増便もしていただいているので、ぜひ公共交通でお越しいただければと思う。

## 越前町

- ・鉄道がなくバスが主な移動手段となる中で、運転士不足もあり路線バスの廃止や減便の話が出ている。この動きも踏まえコミュニティバスやデマンド交通の役割も考えていきたい。
- ・蟹のシーズンは多くの方にお越しいただくが、こちらに来られた後の移動手段が課題となっている。これについては、タクシー事業者と協力して日本版ライドシェアの実証運行などを行い、解消の方策を検討したい。

## 福井県老人クラブ連合会

- ・利用者の立場として公共交通の普及啓発の役割を担っていきたい。
- ・5月にコミュニティバスに乗って移動する企画をした際に、事前に大人数が乗ることを連絡しておいたにもかかわらず高齢者が座れなかったり、乗り継ぎに手間が掛かかることがあった。このあたりの利用者、自治体、交通事業者の情報連携をしっかりともらい、利用しやすい環境をつくってほしい。
- ・10月は敦賀まで行く企画も予定しているので、敦賀までの乗り継ぎや敦賀の町の巡るバスの利用などについてまたご相談させていただきたい。

## 福井県PTA連合会

- ・修学旅行のシーズンということで、新しくできた北陸新幹線で東京に行く学校も多くなっている。これが各家庭でICOCAを持つきっかけにもなっており、市内は既に持っている方が多いが、郊外の普段自家用車で移動する方がICOCAを利用して動くきっかけにもなるかと思う。
- ・PTAも公共交通の普及啓発に協力したい。PTAの中でも会議を電車やバスで行けるような場所に設定するなどの動きがあり、これを家庭教育や社会教育にも広げていければと考えている。引き続き広報をしていきたい。

## 公益社団法人福井県観光連盟

- ・観光客の二次交通については、はぴバスの運行を行っているがそこまで利用が伸びていない。離れた観光地には自家用車やレンタカーで移動する方が多いようである。これからのシーズンは更に利用を伸ばせるよう広報等に努めていきたい。

## 福井運輸支局

- ・お話のあったバスの減便については、労働時間の決まりもあり、輸送事故を防ぐための短期的な緊急措置としてはやむを得ないと感じる。一方で、利用者が多い路線の減便は地域への影響も大きいので、各地域で路線の必要性をよく吟味したうえでどうしても代替ができないところを残していくような覚悟で進めていく必要がある。
- ・前向きな話題として、公務出張における公共交通の利用促進ということで支局では貸出可能な交通系ICカードを導入した。各自治体でもぜひ導入をご検討いただければと思う。

## ハピラインふくい

- ・福井市より駅周辺の駐車場の調査をされると伺ったので、公共交通の利用促進と齟齬がないような方向で調査結果を活用いただければと思う。

## (7) 協議会の進め方について (協議会の統合)

- ・事務局より資料7説明

### <質疑応答>

## 福井運輸支局

- ・他県の県全域で策定している交通計画やパーソントリップの通勤通学流動を加味して進めていただければと思う。
- ・また、統合すると関係者が多くなりすぎるということあるので、部会や親会の位置づけをよく吟味して検討いただくと良い。

## 川本会長

- ・それでは、事務局にて手続きを進めてほしい。

## 5 閉会